

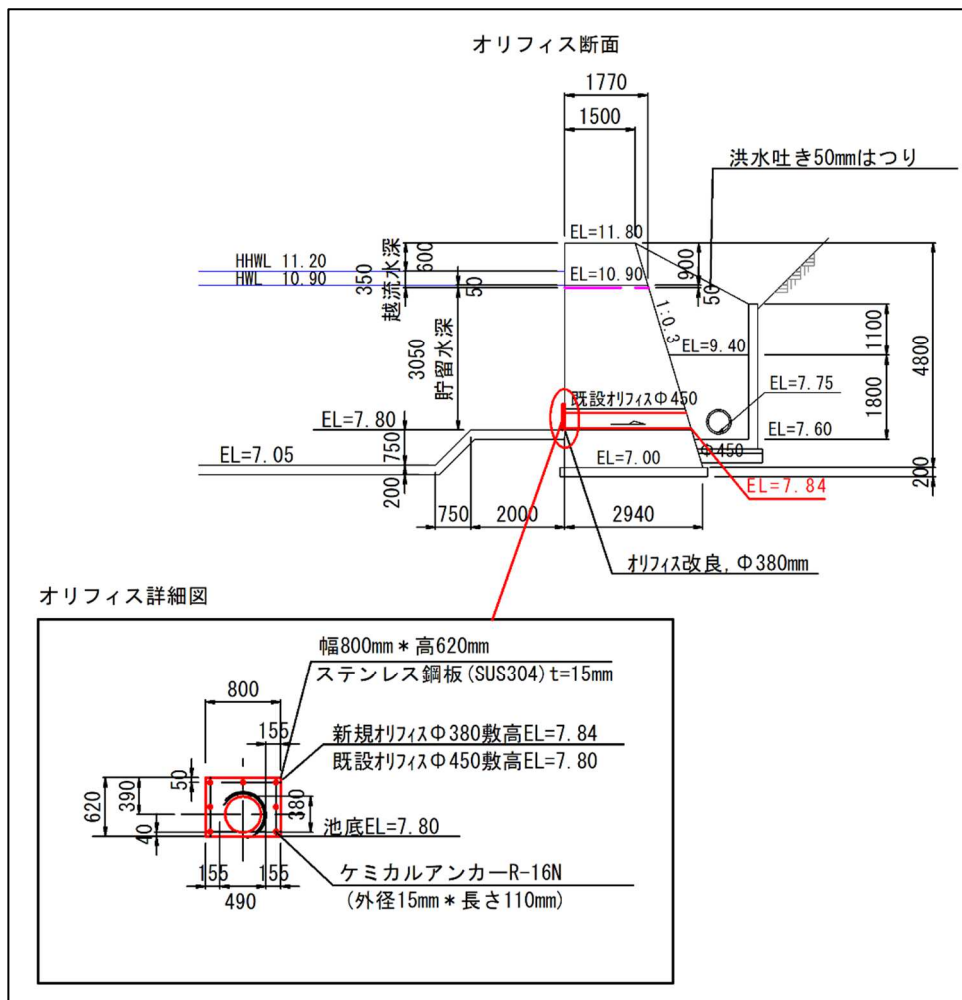
11) オリフィス

オリフィスの条件は、前述した防災調整池の容量計算のとおりである。

○許容放流量：0.52 m³/s

○オリフィス構造は次のとおりである。

(5) オリフィス						
	形状	敷高(m)	幅・直径(m)	高さ(m)	流量係数 C1	流量係数 C2
1	円形	7.840	0.380	—	0.60	1.80



12) 余水吐き

○洪水流出量：

洪水流出量は、調整池基準より、100年確率降雨強度の1.2倍の流量とする。

【調節池基準 (p.39) より】

第23条 調節池には、洪水を処理し、貯水位の異常な上昇を防止するため自由越流式洪水吐きを設けるものとする。

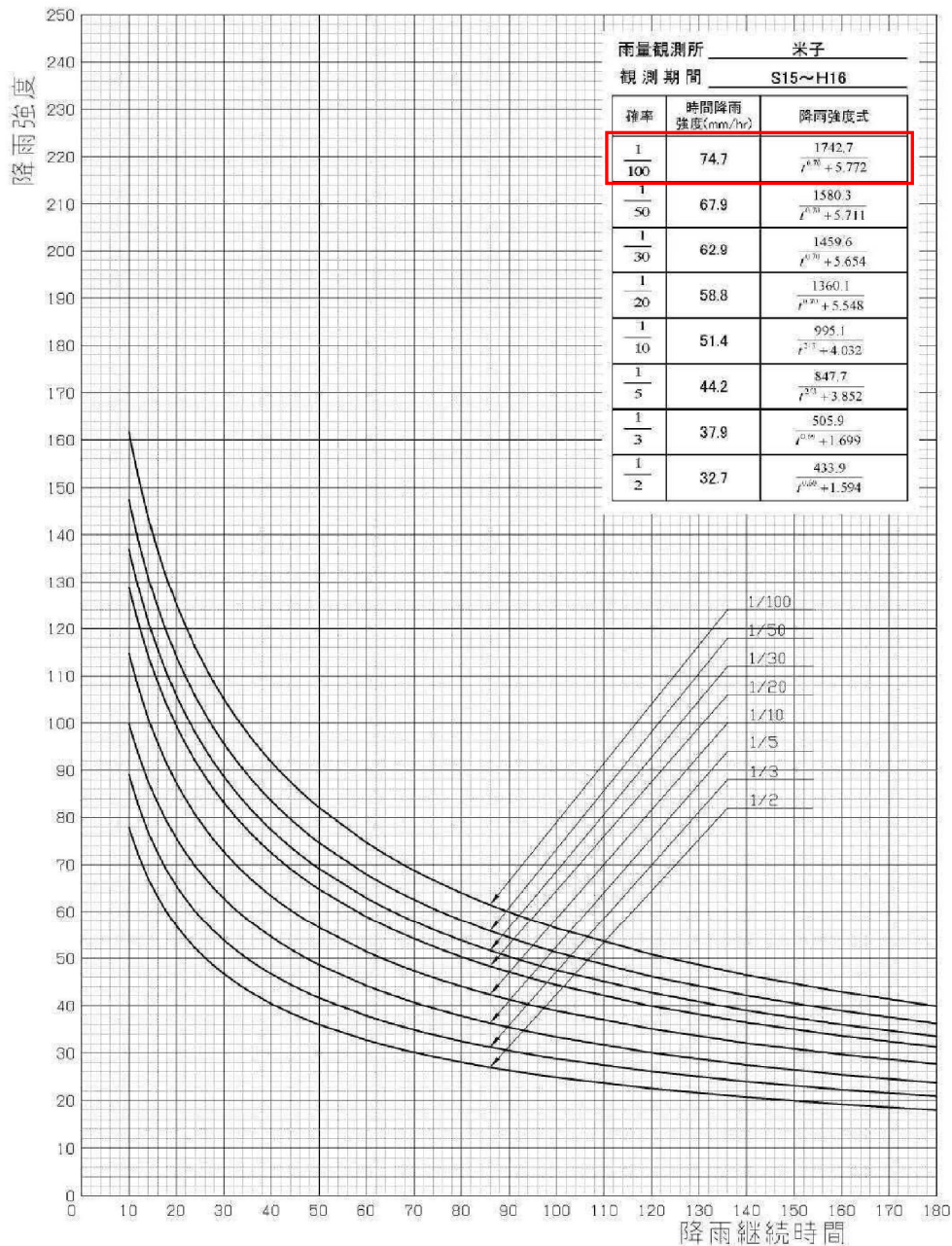
2 洪水吐きは、当該調節池流域またはその近傍流域の雨量、流量および比流量等から算定しうる当該調節池地点の最大流量を放流しうるものとする。

ただし、その放流能力は、200年に1回起こるものと算定される当該調節池直上流部における流量、またはすでに観測された雨量、水位、流量等にもとづいて算定された当該調節池直上流部における最大の流量のいずれか大きいものの1.2倍以上の流量を放流できるものでなければならない。

・ 100年確率降雨強度：

$$r = 1,742.7 / (t^{0.7} + 5.772) = 161.6 \text{ mm/hr}$$

降雨強度曲線



・洪水流出量：

洪水流出量は、県指針より、雨水流出量の算定式より計算する。

④ 雨水流出量の算定

ア 雨水流出量の算定は、原則として下記の合理式（式1）を用いて算定すること。

$$Q_p = 1 / 360 \cdot f \cdot r \cdot A \quad \dots \text{（式1）}$$

Q_p : 雨水流出量 (m^3/sec)

f : 流出係数

r : 降水強度（到達時間内の平均降水強度） (mm/h)

A : 集水面積 (ha)

前述より、 $f=0.803$ 、 $A=6.267ha$

洪水流出量： $Q=1/360 \times 0.803 \times 161.6 \times 6.267 \times 1.2=2.71 m^3/s$

○余水吐きの断面：

・越流幅：5.4m（既設防災調整池）

・越流水深：以下に示す越流堰の流下能力の算出方法に基づき、計算する。

【調整池基準】より、越流頂の放流能力は次式で求める。

$$Q=C \cdot L \cdot H^{3/2}$$

C : 流量係数（一般に1.8程度を使用）

L : 越流幅 (m)

H : 越流水深、堤頂を基準面とした接近流速水頭を含む全水頭 (m)

既設防災調整池の最大越流水深：0.35m

$$\text{越流幅} : L = Q / (C \cdot H^{3/2}) = 2.71 / (1.8 \times 0.35^{3/2}) = 7.3m$$

以上より、既存越流頂高10.9mから10.85mに、既存越流幅5.4mから7.3mに改修する必要がある。

次図に、余水吐きの改修平面図と断面図を示す。

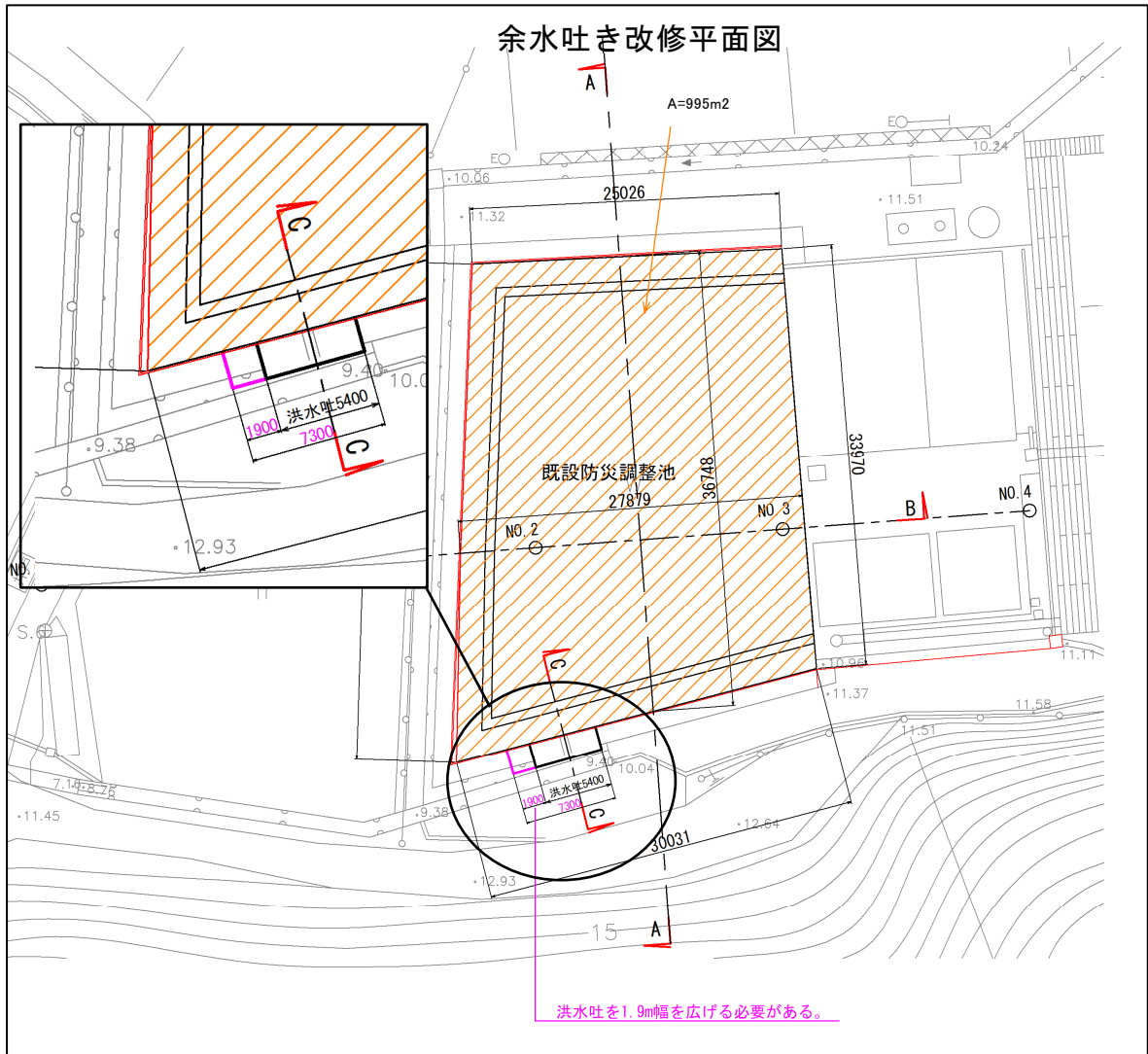


図19 余水吐き改修平面図

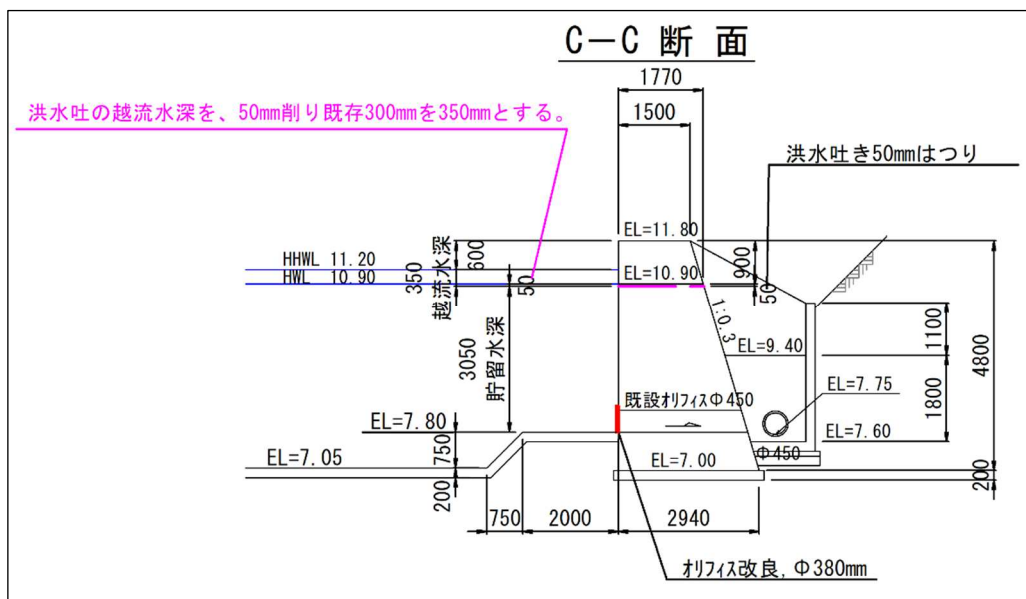
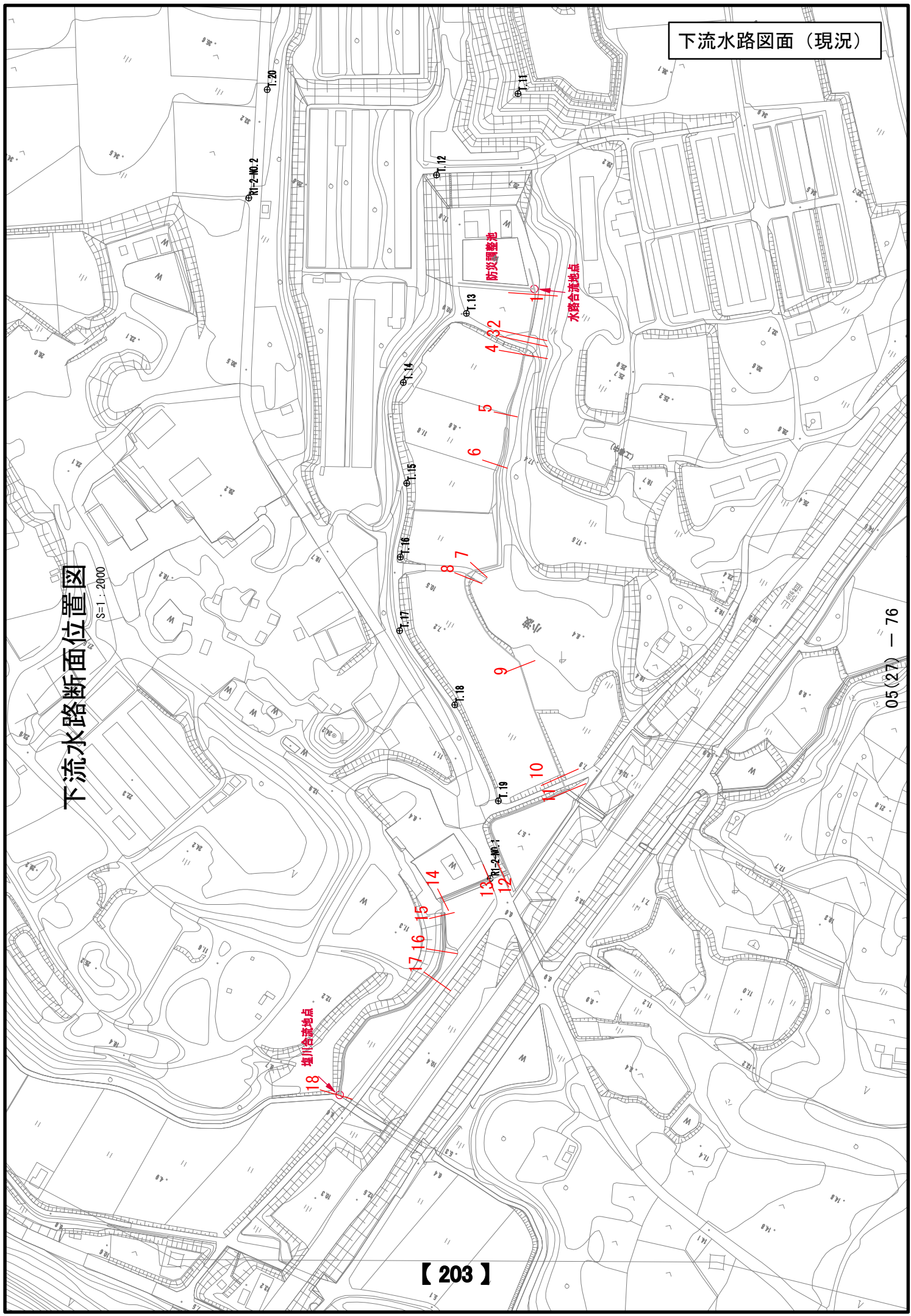


図20 余水吐き改修断面図

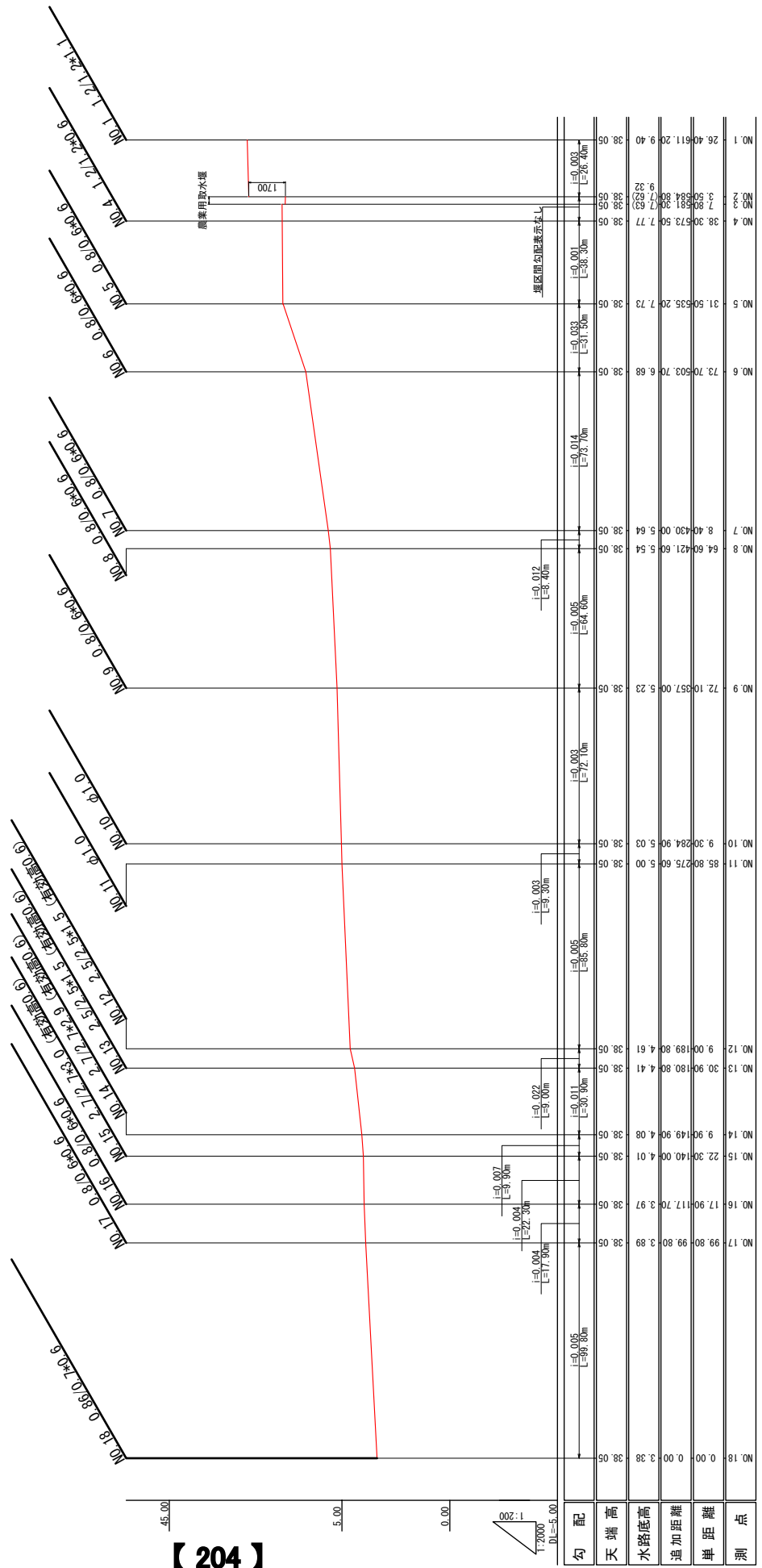
下流水路断面位置図

S=1:2000



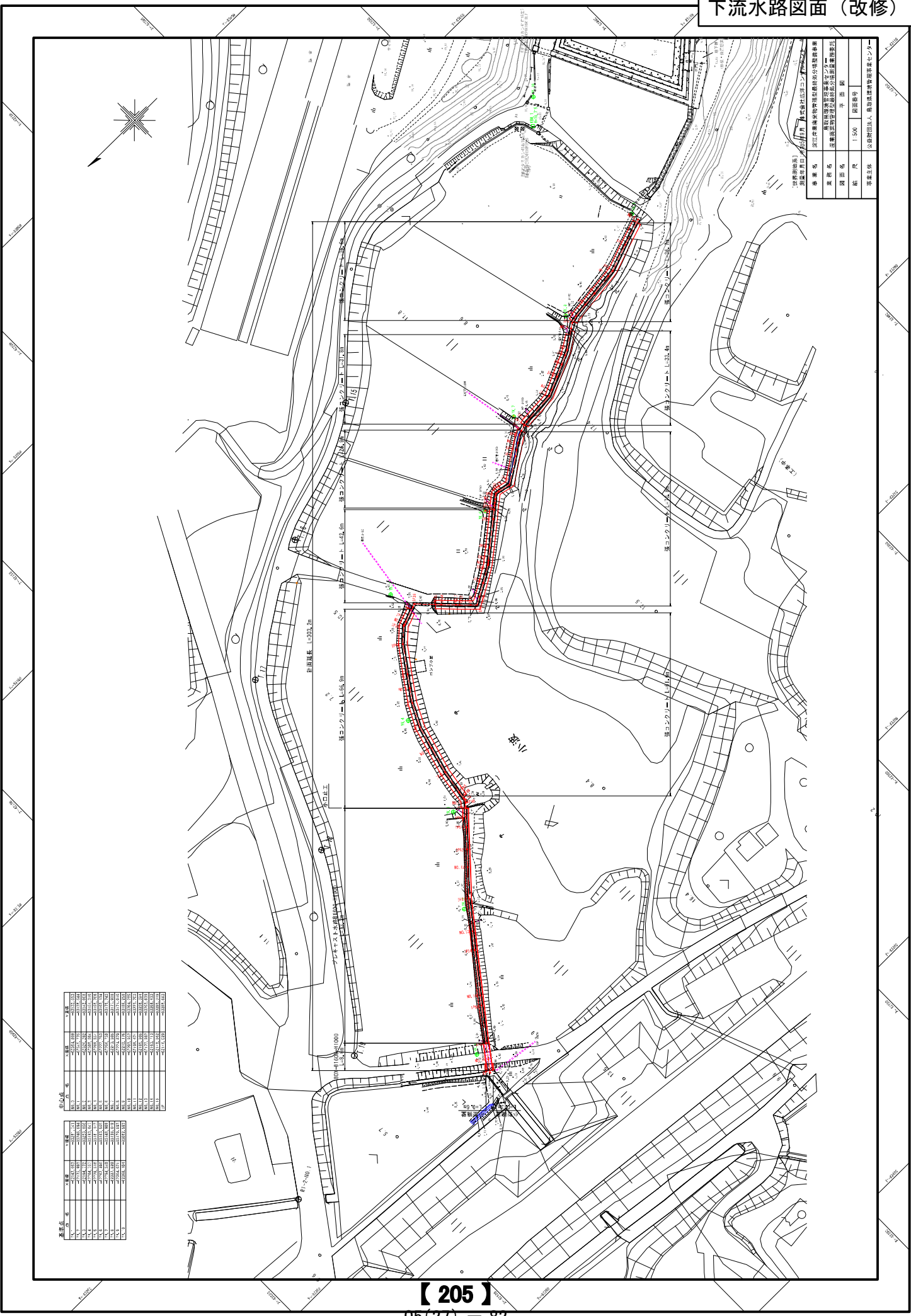
下流水路縦断面図

H=1:2,000、V=1:200



【 204 】

下流水路図面（改修）



河川管理事務所 河川改修工事 河川改修工事 河川改修工事

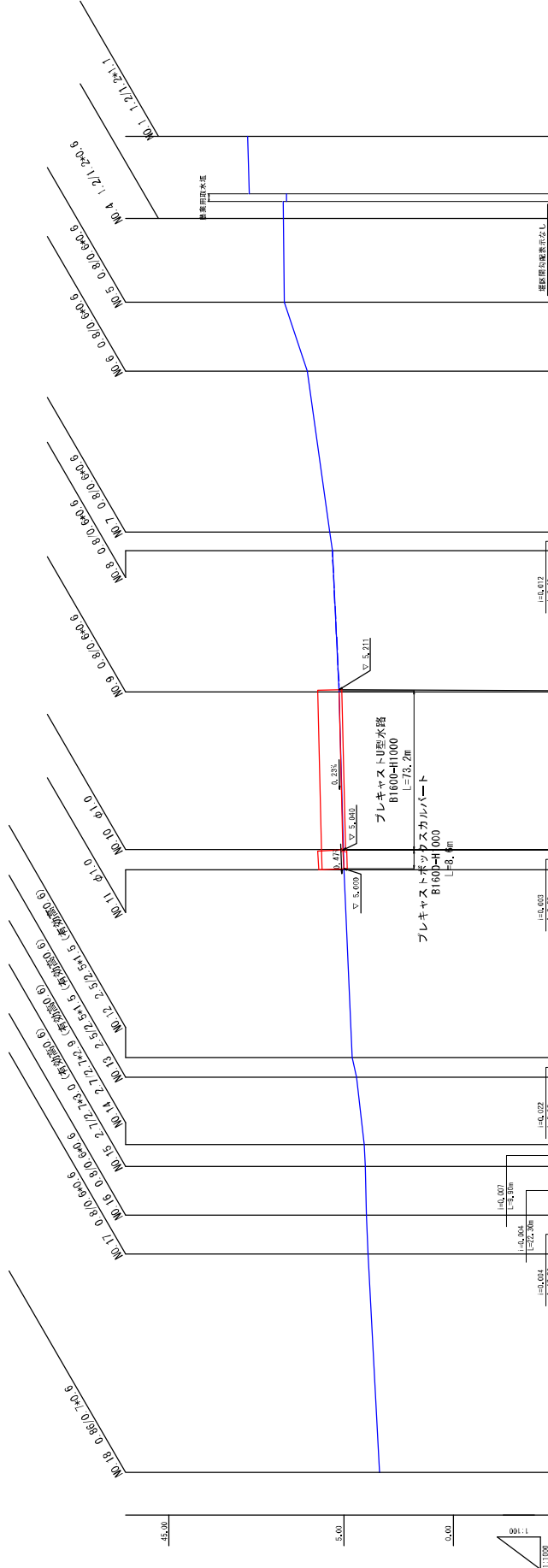
事業名	河川改修工事
事業種別	河川改修工事
事業年度	平成 年 月
事業内容	河川改修工事
事業主体	河川改修工事

断面表

断面番号	断面位置	断面形式	断面形状	断面面積	断面容積
1	1+000	コンクリート	1.5m x 1.5m	2.25	0.00
2	1+100	コンクリート	1.5m x 1.5m	2.25	0.00
3	1+200	コンクリート	1.5m x 1.5m	2.25	0.00
4	1+300	コンクリート	1.5m x 1.5m	2.25	0.00
5	1+400	コンクリート	1.5m x 1.5m	2.25	0.00
6	1+500	コンクリート	1.5m x 1.5m	2.25	0.00
7	1+600	コンクリート	1.5m x 1.5m	2.25	0.00
8	1+700	コンクリート	1.5m x 1.5m	2.25	0.00
9	1+800	コンクリート	1.5m x 1.5m	2.25	0.00
10	1+900	コンクリート	1.5m x 1.5m	2.25	0.00
11	2+000	コンクリート	1.5m x 1.5m	2.25	0.00
12	2+100	コンクリート	1.5m x 1.5m	2.25	0.00
13	2+200	コンクリート	1.5m x 1.5m	2.25	0.00
14	2+300	コンクリート	1.5m x 1.5m	2.25	0.00
15	2+400	コンクリート	1.5m x 1.5m	2.25	0.00
16	2+500	コンクリート	1.5m x 1.5m	2.25	0.00
17	2+600	コンクリート	1.5m x 1.5m	2.25	0.00
18	2+700	コンクリート	1.5m x 1.5m	2.25	0.00
19	2+800	コンクリート	1.5m x 1.5m	2.25	0.00
20	2+900	コンクリート	1.5m x 1.5m	2.25	0.00
21	3+000	コンクリート	1.5m x 1.5m	2.25	0.00
22	3+100	コンクリート	1.5m x 1.5m	2.25	0.00
23	3+200	コンクリート	1.5m x 1.5m	2.25	0.00
24	3+300	コンクリート	1.5m x 1.5m	2.25	0.00
25	3+400	コンクリート	1.5m x 1.5m	2.25	0.00
26	3+500	コンクリート	1.5m x 1.5m	2.25	0.00
27	3+600	コンクリート	1.5m x 1.5m	2.25	0.00
28	3+700	コンクリート	1.5m x 1.5m	2.25	0.00
29	3+800	コンクリート	1.5m x 1.5m	2.25	0.00
30	3+900	コンクリート	1.5m x 1.5m	2.25	0.00

下流水路縦断面図

H=1:1,000、V=1:100



測点	水準高 (計高)		PI業務測点	車道幅	通車距離 (実測)	水路断面 (算定)	天端高 (埋没)	現況勾配
	現在	設計						
NO.1	28.40							
NO.2	28.90							
NO.3	29.50							
NO.4	30.00							
NO.5	31.50							
NO.6	32.00							
NO.7	32.50							
NO.8	33.00							
NO.9	34.50							
NO.10	35.00							
NO.11	35.50							
NO.12	36.00							
NO.13	37.50							
NO.14	38.00							
NO.15	39.50							
NO.16	40.00							
NO.17	41.50							
NO.18	42.00							

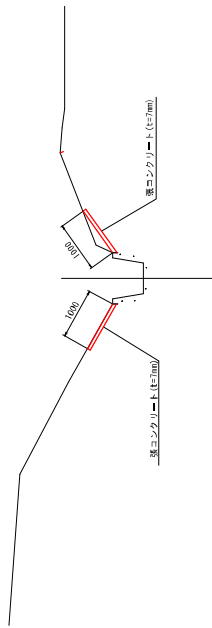
事業名	江津市水防対策計画事業		
事業区分	水防対策事業		
年度	令和3年度	第幾期工事	第幾期工事
事業区分	水防対策事業		
事業区分	水防対策事業		
事業区分	水防対策事業		
事業区分	水防対策事業		
事業区分	水防対策事業		
事業区分	水防対策事業		
事業区分	水防対策事業		

本図は設計図であり、施工にあたっては、現場実測データと照合し、必要に応じて修正するものとする。また、本図の記載内容と異なる場合は、現場実測データが優先されるものとする。

標準横断面図 S=1:50

張りコンクリート設置断面

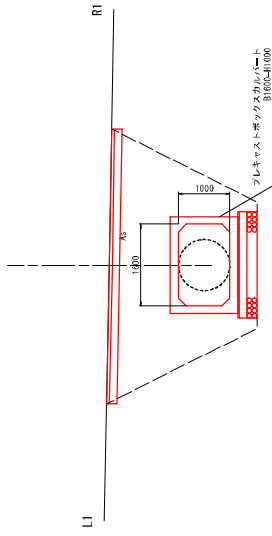
NO. 8付近



DL=0.00

プレキャストボックス設置断面

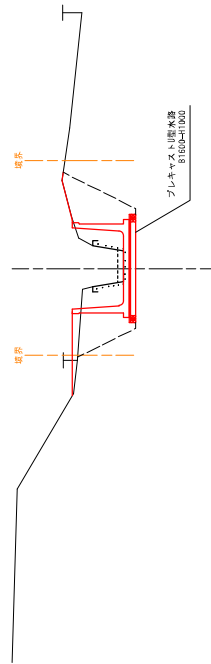
NO. 15付近



DL=0.00

プレキャスト水路設置断面

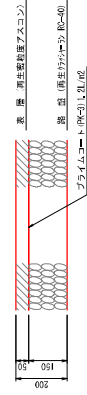
NO. 12付近



DL=0.00

舗装構成 S=1:10

車道舗装



※施工の際は指定舗装層を確認し復旧を行うこと。

事業者	国土交通省 国土院 国土院 国土院
事業名	国土院 国土院 国土院
図面名	国土院 国土院 国土院
種別	国土院 国土院 国土院
図面番号	国土院 国土院 国土院
備考	国土院 国土院 国土院

雨水の表流水排除について

本処分場は、浸出水の発生量の削減を目的に、中間覆土が完了した各法面小段において、雨水の表流水を排除する計画としている。以下に、表流水の排除対策のイメージ図を示す。

また、併せて、埋立段階毎の雨水の処理方法を示した図面を添付する。

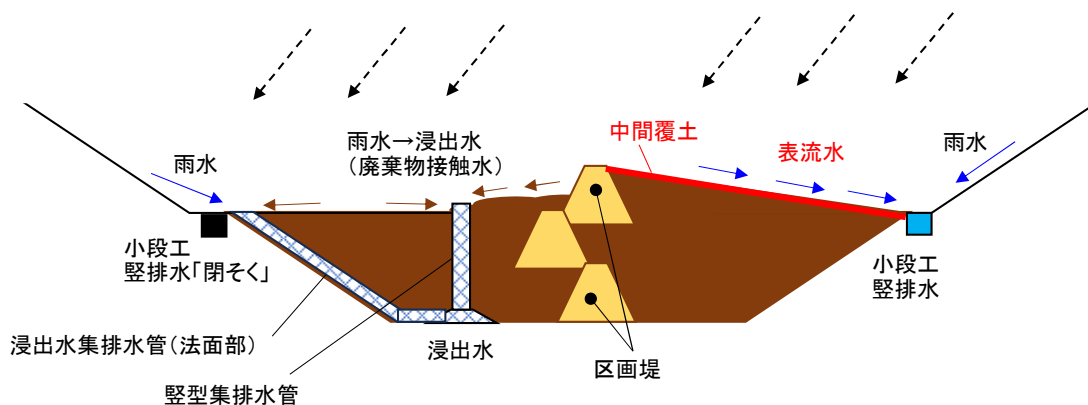


図 表流水の積極的排除対策（Aパターン）

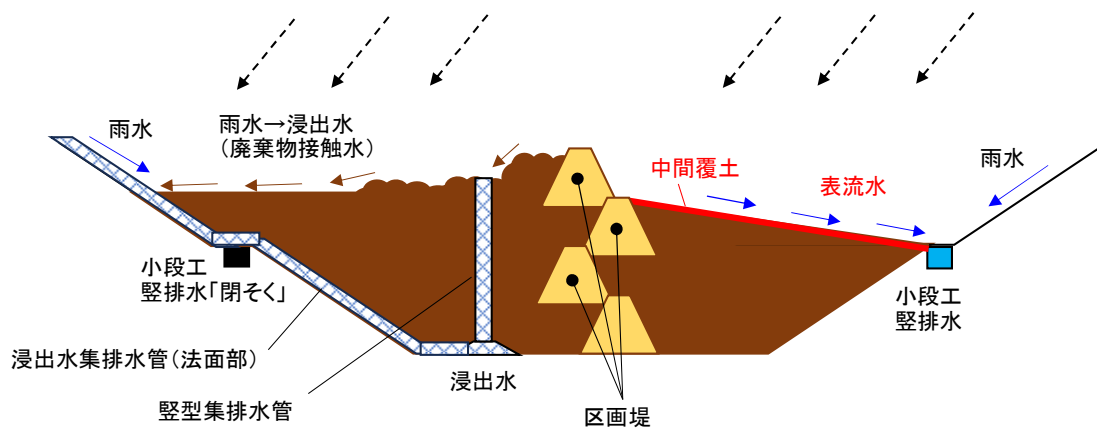


図 表流水の積極的排除対策（Bパターン）